

令和5年度 要介護度改善評価事業 表彰事例紹介

最優秀賞

株式会社エイルプラス
グループホーム明日香

取組内容

骨折により車いす生活となり、意欲低下や対人トラブルを抱えていた対象者に対し、「他者と歩いて浜松城へ行く」「敬老会の司会を行う」といった目標を立てた。筋力トレーニングや生活リハビリを行い、他者とも段階的に関わるように促した。



評価ポイント

グループホームの強みを活かし、足筋力トレーニングと他者との良好な関わりという2面から目標を設定し、取り組みを行った結果、QOL、ADLの向上、要介護度の改善につながった。

優秀賞

医療法人社団 一穂会
介護医療院 西山病院

取組内容

廃用症候群の対象者に対し、機能改善を目標に、多職種にてメンタルケアを含めた介入を行った。退院に際しては、家屋訪問や福祉用具の提案、外出訓練を行い、本人・家族の不安解消へ向けたフォローを行った。



評価ポイント

介護医療院の利用者に対し、多職種の連携の基、歩行訓練や嚥下リハビリに加え、精神面へのアプローチ等を行うことで、身体機能やADL、嚥下機能の改善がみられ、最終的に退院し、在宅復帰となった。



優良賞

社会福祉法人 十字の園

介護老人福祉施設 浜松十字の園

取組内容

左半身に重度の麻痺があり、悲観的な発言が多く自殺のリスクがある対象者について、トイレでの排泄を短期目標として①介護職員担当の生活リハビリ、②機能訓練指導員の個別訓練、③環境調整、④参加への促しを行った。



評価ポイント

ICF整理シート、ひもときシートを使用し、利用者の想いを捉え、また状態を可視化することで利用者にあった個別的な支援の提供につながっている。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

浜松市リハビリテーション病院

取組内容

病前に趣味として行っていた畑作業の一部獲得を目標とし、通所リハビリでしゃがみなどの床上動作や運搬練習を実施した。毎月1回の居宅訪問にて畑作業の評価を行い、自宅での自主トレーニングや畑作業の取り組みを依頼した。

評価ポイント

生活行為向上リハビリテーションにおいて、畑仕事を目標とし、経過に合わせたアプローチを行うことで身体機能面の向上と要介護度が改善し、通所リハビリテーションの修了に至った。

